

B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルス感染に起因する 青森県肝炎総合対策の改定について

目標（令和6年度から令和11年度の6年間）

I	ウイルス性肝炎から肝硬変への移行者・肝硬変から肝がんへの移行者の減少
II	市町村によるフォローアップ体制整備の充実
III	関係機関における肝炎医療コーディネーターによる支援

<目標 I > ウイルス性肝炎から肝硬変への移行者・肝硬変から肝がんへの移行者の減少

※目標 I のみ、定量的な5指標を設定している。

指標名	出典	現状値 (全国)	目標値(案)	見直し案
1 肝がん75歳未満 年齢調整死亡率	国立がん研究センター 「がん登録・統計」	5.3 (3.7)	R3年 変更する 『減少』 ↓ 『3.7以下』	【目標値を変更する】 国の基本指針においては定量的な目標が定められていないが、依然として全国の値よりも高い状態にあることから、具体的な目標値を定める。 ※目標値を現状値【全国】である <u>3.7以下</u> とする。
2 肝がん75歳未満 年齢調整罹患率	(策定時) 全国がん罹患モニタ リング集計 (現状値) 全国がん登録 罹患 数・率報告	11.3 (12.0)	H31年 変更する 『減少』 ↓ 『7.0以下』	【目標値を変更する】 「肝炎研究推進戦略」において、「 <u>肝がんの年齢調整罹患率を、現状の約13.0から約7.0まで改善</u> 」と示されたことから、本県においても目標値を『7.0以下』とする。
3 肝硬変死亡率	人口動態統計	8.6 (6.8)	R3年 変更する 『減少』 ↓ 『6.8以下』	【目標値を変更する】 国の基本指針においては定量的な目標が定められていないが、依然として全国の値よりも高い状態にあることから、具体的な目標値を定める。 ※目標値を現状値【全国】である <u>6.8以下</u> とする。

<目標Ⅱ> 市町村によるフォローアップ体制整備の充実

指標名	出典	現状値	目標値(案)	見直し案
フォローアップ体制整備済市町村割合	がん・生活習慣病対策課調べ	(現状値) 72.5% (29/40)	R4年度 変更しない 100%	【変更しない】 改善してはいるものの目標の100%には至っていないため、引き続き、フォローアップ体制の実態の把握に努めるとともに、市町村に対して、フォローアップを行わないことにより重症化が進んだ際のデメリット(医療費(国保財源)の増加)を示しつつ、体制の整備を強く働きかけていく。

<目標Ⅲ> 関係機関における肝炎医療コーディネーターによる支援

指標名	出典	現状値	目標値(案)	見直し案
肝炎医療コーディネーター設置医療機関(肝疾患診療連携拠点病院及び専門医療機関)割合	がん・生活習慣病対策課調べ	(現状値) 100%	R4年度 変更しない 100%	【変更しない】 引き続き、肝疾患診療連携拠点病院及び専門医療機関の全てに設置されている現状を維持する。

アウトカム評価による

施策(アウトプット)

検査費用の助成や広報により
肝炎ウイルス検査の更なる
促進を促す

肝炎医療費助成等の適切な
肝炎医療の推進

広報等により肝炎に関する正
しい知識の更なる普及啓発を
行う

肝炎患者等及びその家族に
対する情報提供の実施

肝炎患者等及びその家族に
対する相談支援の実施

市町村への働きかけにより
フォローアップ体制の整備を
行う

研修会の実施による肝炎医
療コーディネーターの育成

中間的な成果(初期アウトカム)

ウイルス性肝炎から肝硬変への
移行者・肝硬変から肝がんへの
移行者の減少

市町村によるフォローアップ体制
整備の充実

関係機関における肝炎医療コー
ディネーターによる支援の充実

最終目的(分野アウトカム)

肝がん75歳未満年齢調整死亡率
及び肝硬変死亡率の減少